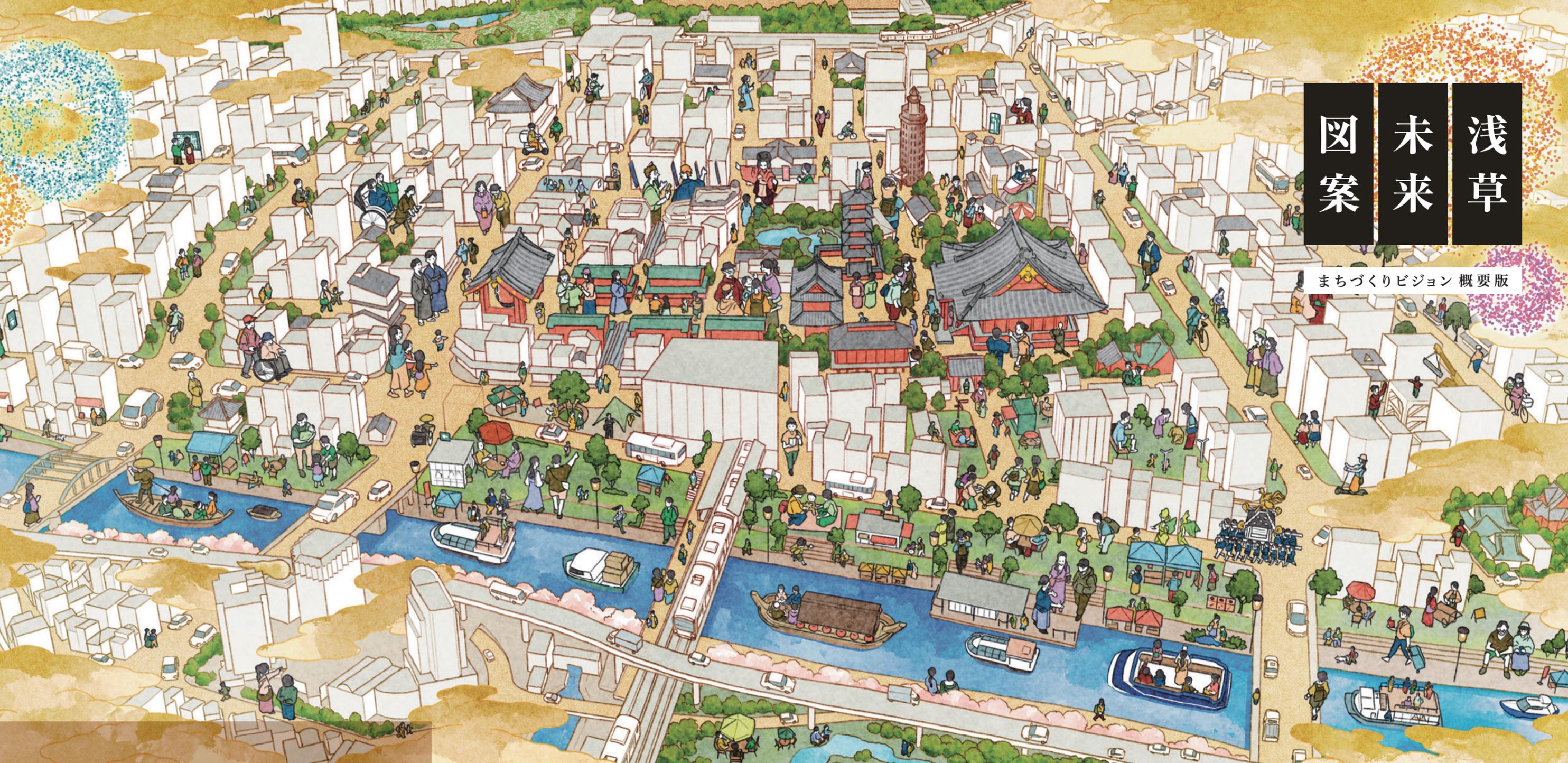


# 浅草 未来 図案

まちづくりビジョン 概要版



## 浅草未来図案とは

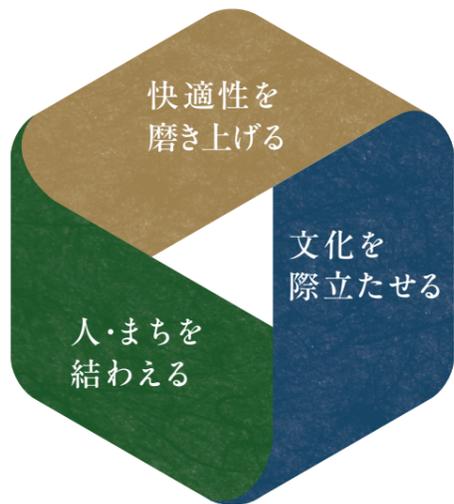
浅草の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていくために、概ね20年後のまちの姿や、その実現に向けた短期・中長期的な取り組みを示す「道しるべ」です。

住む人や商いをする人の生活様式や、訪れる人が求めるニーズが多様化した時代における、これからのまちづくりの方向性を伝えます。

### 3つの「まちづくりのコンセプト」

- 魅力ある空間の質や人の心（ホスピタリティ）を向上させる。
- エリア内の通りや軸を空間的・心理的につなぐ。
- まちのなかに散りばめられた魅力を明確にする。

浅草のまちのさまざまな声をもとに、これらの内容を「まちづくりのコンセプト」として掲げます。



## 浅草未来図案 -まちづくりビジョン- 概要版

令和8年3月発行（令和7年度登録 第68号）  
台東区都市づくり部 地域整備第二課  
〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号  
電話 03(5246)1366(直通)



詳しい内容は  
二次元コードから  
ご覧ください。

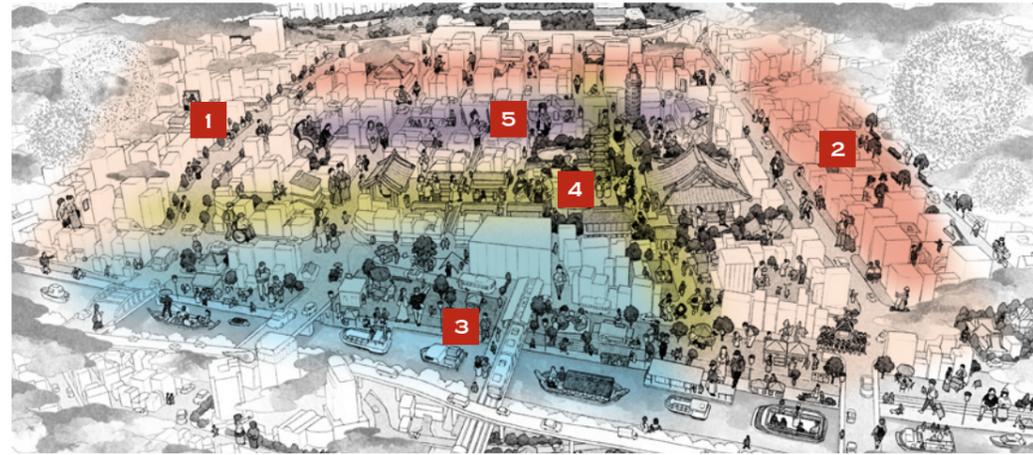
## 歴史がある、 新しいまち浅草

これまで浅草が積み上げてきた歴史や文化を尊重しつつ、新しい考え方や時代の変化も柔軟に受け止めながら、まちが生み出す賑わいや魅力をさらに広げていきます。

浅草で培われてきた暮らしや営みを大切にしながら、「住むまち」としての価値も高めていきます。

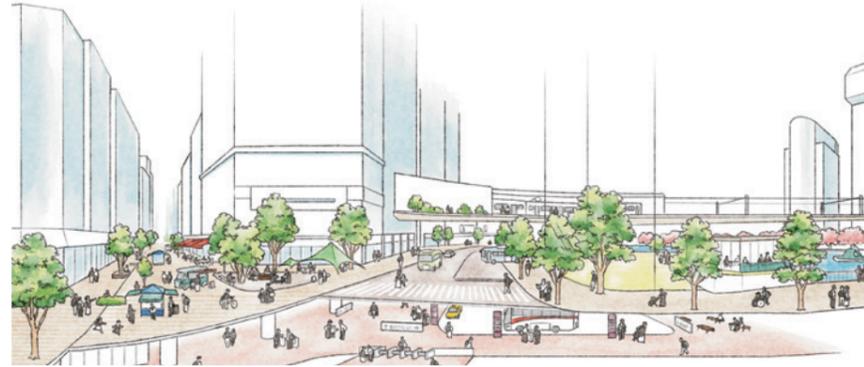
# 戦略的まちづくりプログラム

空間として大きく再編される場所、現状の空間を維持しつつ魅力を増やしていく場所の中でも、まち全体に好影響が広がり、波及効果が最大化されていくことを狙いとして、場所と取り組みを戦略的に抽出し、5つのプログラムを設定します。



本紙面の図はまちの将来像を共有するため、道路や水辺、広場等の関係性や使われ方を表現したイメージ図であり、具体的な配置や規模を示すものではありません。今後、まちづくりに関わる方々と意見を重ね、具体的な計画へと発展させていきます。

## 3 新たな回遊拠点の創出プログラム (浅草駅・隅田川周辺)



### ありたい姿

- 鉄道・バス・水上バスなどの公共交通の利用がしやすく、利便性が高い交通環境を確保します。
- 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間づくりを推進します。
- 観光や平常時の憩いだけでなく、災害時の避難にも対応できる空間を確保します。

## 1 人中心の空間の創出プログラム (浅草全体)



### ありたい姿

- 訪れる人で溢れているまちなかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができる環境を整備するとともに、周辺地域との緩やかなつながりを確保します。
- 空間の利活用につなげるイベントや社会実験を重ね、歩いて巡ることやさまざまなシーンでの活用を楽しめる空間づくりを推進します。
- 浅草ならではのルールをつくり、良好な街並みや景観の形成、環境づくりを推進します。

## 4 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)



### ありたい姿

- 浅草寺と隅田川の往來を促進するような動線を確保します。
- 二天門前や隅田公園近辺では、東西の往來を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草寺周辺や浅草寺と隅田川をつなぐ参道において、建物ファサードや屋外広告物等の統一感ある景観づくりを推進します。

## 2 多様な地域特性の継承プログラム (観音裏・西浅草等周辺)



### ありたい姿

- 地域の生活やなりわいが息づく場所では、歴史や文化に育まれた風情、たたずまいを大切にしながら、エリアごとの特性を活かした住環境を確保します。
- 浅草ならではの考え方を共有し、住む人・商いをする人にとって、地域の営みに寄り添いながら住み働き続けられる環境づくりを推進します。
- 地域の特性を大切にしながらも、社会の変化に合わせて工夫を加えることで、地域の資源の質を高めるだけでなく、新しい資源の創出を推進します。

## 5 賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)



### ありたい姿

- 興行や大衆芸能の中心地として、浅草の賑わいを支えてきた数々の取り組みを展開します。
- 主要な通りでは、快適に通行でき、人々の往來を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪れた人の集客を促進します。